

# 県内学校ミニ・ニュース (市原市立三和中学校)



校訓 <親和><勤勉><自主>

学校教育目標

『感性豊かな逞しい生徒の育成』



花時計と全校生徒

本校は市原市の中心に位置し、周囲は昔ながらの田園風景が広がる、自然豊かな環境の学校です。生徒数は136名と小規模な学校で、地元出身の保護者が多く、地域とのつながりが強い学校です。

東日本大震災の被災地である宮城県女川町立女川中学校と「同じ時を刻む学校」として連携し、8年目を迎えました。毎年ジャンボ年賀状を送ったり、募金にも協力しています。昨年9月に台風で被害を受けた際には、女川中学校からお見舞いの電話をいただきました。今後も細く長いつながりを続けていきたいと思っています。



<総合的な学習の時間>

総合的な学習の時間に「プロジェクト学習」を行い、その成果を澄空祭で発表しています。8年間継続している取り組みは学年の壁を越え、上級生がリードしながら学習を進めています。今年度は、「よさこい」「花と緑」「エコ」「三和池の水全部抜いてみた」「ピタゴラ装置をつくろう」の5つに分かれて取り組みました。

<小中連携の取り組み >

小中合同の教科・領域部会、合同授業研究会はもちろんのこと、その他に小中連携の取り組みとして三和中学校区では「三和ドリームスクール」と称し、①中学生が母校に帰って運動会の前日準備の手伝い②海上(うなかもみ)小学校での女川体操、よさこい披露③中学校職員が小学校での授業実施(理科・英語)④中学生が小学校へ行って英語スピーチコンテストの発表⑤小中合同芸術鑑賞教室⑥小学校校長が中学生への進路指導としての模擬面接などを行っています。

PTA、地域の方と協力して、年間3回の資源回収を行っている様子です。

「からくり儀右衛門」を鑑賞しました。今年度は中学生や校長先生が劇的一幕に参加しました。

